

ニュースヘッドラインを毎夕配信中!

### 日刊CARGOメルマガ登録は

日刊CARGO

検索



船協・工藤会長

## 「来年は勝負の年」 海運税制拡充の取り組み継続

日本船主協会の工藤泰三会長(日本郵船会長)は21日に会見し、2017年度税制改正で海運関係の税制要望が認められたことについて、「海事クラスターの皆さんにご協力をいただいた。来年は勝負の年になる」と語った。

「中国や中東では空港インフラの拡張による容量拡大が進むなど(国際空港間の)競争は激化している。国内貨物量が多い中国、また、欧州路線でのトランジット需要に優位性のある中東の空港に対し、仁川空港が競争力をつけるためには、インフラ先行投資やプロセス改善で、差別化できる戦略

「中国や中東では空港インフラの拡張による容量拡大が進むなど(国際空港間の)競争は激化している。国内貨物量が多い中国、また、欧州路線でのトランジット需要に優位性のある中東の空港に対し、仁川空港が競争力をつけるためには、インフラ先行投資やプロセス改善で、差別化できる戦略

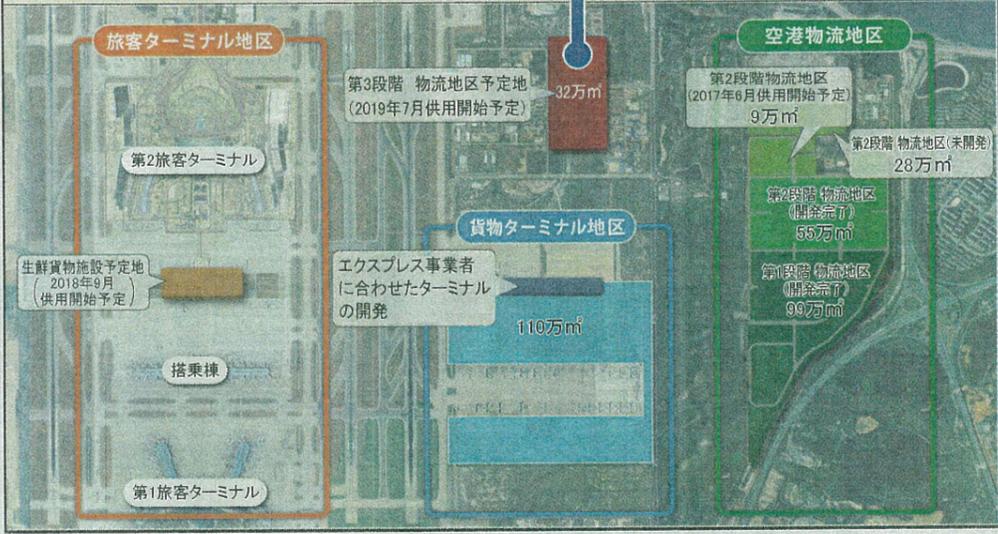
「中国や中東では空港インフラの拡張による容量拡大が進むなど(国際空港間の)競争は激化している。国内貨物量が多い中国、また、欧州路線でのトランジット需要に優位性のある中東の空港に対し、仁川空港が競争力をつけるためには、インフラ先行投資やプロセス改善で、差別化できる戦略

「中国や中東では空港インフラの拡張による容量拡大が進むなど(国際空港間の)競争は激化している。国内貨物量が多い中国、また、欧州路線でのトランジット需要に優位性のある中東の空港に対し、仁川空港が競争力をつけるためには、インフラ先行投資やプロセス改善で、差別化できる戦略

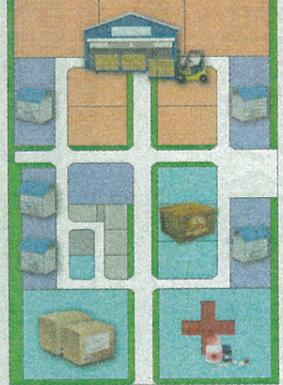
「中国や中東では空港インフラの拡張による容量拡大が進むなど(国際空港間の)競争は激化している。国内貨物量が多い中国、また、欧州路線でのトランジット需要に優位性のある中東の空港に対し、仁川空港が競争力をつけるためには、インフラ先行投資やプロセス改善で、差別化できる戦略

「中国や中東では空港インフラの拡張による容量拡大が進むなど(国際空港間の)競争は激化している。国内貨物量が多い中国、また、欧州路線でのトランジット需要に優位性のある中東の空港に対し、仁川空港が競争力をつけるためには、インフラ先行投資やプロセス改善で、差別化できる戦略

## 仁川空港物流競争力強化推進戦略の投資計画



## 第3段階物流地区 開発構想(案)



トランジット貨物向け区画 中小企業向け区画 新成長分野の貨物向け区画

近鉄エクスプレスは20日、シエララトンホテル東京で報道関係者を招いたメディア懇談会を開催した。鳥居伸年社長をはじめ、同社幹部が出席した。冒頭、あいさつに立った鳥居社長は「われわれの現業であるフォワーディング事業をしっかりと立て直し、(APLLという)ピットと合う鎧兜を着てこれから世界に出ていきたい」と述べた。乾杯の音頭を取った三橋義信専務取締役は「来年はさらさら飛躍の年にしたい」と述べた。



## 近鉄エクスプレス・鳥居社長

## 「ピットと合う鎧兜で世界へ」

### メディア懇談会で抱負

鳥居氏は今年6月に社長に就任。「日々勉強で、気持ち的にはもう1年くらいやっていける感じだ」と述べた。

と振り返った。今期(2017年3月期)業績は、買収したAPLLの統合に関わる諸費用の発生で、期初目標を下回る推移が続くものの、「APLLも含めて、各事業体の事業そのものは思惑通り順調に推移した1年だった」と述べた。

「中国や中東では空港インフラの拡張による容量拡大が進むなど(国際空港間の)競争は激化している。国内貨物量が多い中国、また、欧州路線でのトランジット需要に優位性のある中東の空港に対し、仁川空港が競争力をつけるためには、インフラ先行投資やプロセス改善で、差別化できる戦略



## 看板車が運行開始

### 平野ロジ



平野ロジステイクスはガルーダ・インドネシア航空の看板車の運行を開始した。荷台の右側と後部にはガルーダカーゴのロゴと同社機材(B777-300ER)の写真を、左側には

同車両は成田空港-羽田空港間や都内を中心に運行。また中部空港や関西空港との間でも定期的な運行される予定だ。成田-羽田間の高速道路などを24時間

の区画を設け、水産物など競争力のある企業を集約して誘致することを狙う。生鮮貨物は現状、旅客ベリースペースで輸送される需要が多いため、旅客ターミナル南側に、総面積1万6500平方メートルの旅客専用生鮮施設を建設する。同施設が稼働すれば、生鮮貨

「中国や中東では空港インフラの拡張による容量拡大が進むなど(国際空港間の)競争は激化している。国内貨物量が多い中国、また、欧州路線でのトランジット需要に優位性のある中東の空港に対し、仁川空港が競争力をつけるためには、インフラ先行投資やプロセス改善で、差別化できる戦略

体制で運行するため、例えばリムジンバスを利用して空港と行き来する人たちの目に留まることを意識して、旅客部門の広告も取り入れている。

「中国や中東では空港インフラの拡張による容量拡大が進むなど(国際空港間の)競争は激化している。国内貨物量が多い中国、また、欧州路線でのトランジット需要に優位性のある中東の空港に対し、仁川空港が競争力をつけるためには、インフラ先行投資やプロセス改善で、差別化できる戦略